

大田シニア連だより

発行人：大田区シニアクラブ連合会 会長 飯田 幸男
編集長：木村 典子
連絡：大田区高齢福祉課 ☎ 03-5744-1252 FAX:03-5744-1522
制作・印刷：株式会社ニチコミ TEL:03-5718-3900 <http://www.nichicomi.com>

2026年1月(令和8年)

第79号 新年号



六郷どんど焼き

この写真は平成25年1月13日に行われた「どんど焼き」のようすです。

その年飾った門松やしめ縄飾りを持ち寄って焼き、その火で焼き芋などを焼いて食べると病魔除けになるといわれている火祭り行事です。残念ながらコロナ流行の影響で今は中断中。鳶凧と共に再開させたい行事です。

提供 六郷特別出張所

P2 新春あいさつ
P3 関係者ごあいさつ
P4 各運営部会あいさつ
P5 女性部だより
P6～7 〈チーム大田〉対談
P8～10 各活動報告／単位クラブ活動報告

P11 東老連関連記事
P12 これからの文芸作品展について
P13 文化活動特集
～俳句にクローズアップ！～
P14～15 特集 ～伝統芸能を守る 六郷とんび凧～
P16 文芸シニア／編集後記

新春あいさつ



人生に定年はない！生涯現役！

大田区シニアクラブ連合会 会長 飯田 幸男

明けましておめでとうございます。
皆さまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、各部会の活動は「演芸のつどい」「輪投げ大会」「囲碁・将棋親善大会」「手芸講習会」「文芸作品展」などは今まで以上に参加クラブ・参加人数が増え、盛況で終わらせることができました。

このような結果をもたらしたのは、会員の皆さまが大田シニア

ア連のスローガンである「明るく、楽しく、元気よく、そして笑顔で」を実践した結果ではないでしょうか。

「歳を重ねる」ということは決して「衰え」ではなく、成長し続けることです。「人生

100年時代」といわれる現代社会。未来に目を向ければ今の自分が一番「若い」のです。今年も「生涯現役」でいろいろな活動に参加されることが最大の健康の秘訣です。

結びに、明治から昭和にかけて活躍した91歳まで長生きした実業家渋沢栄一氏の格言「四十、五十は漬垂れ(はなたれ)小僧六十、七十は働き盛り九十になって迎えが来たら百まで待てと追い返せ」

これからもシニアクラブが
元気よく笑顔で活動できる大田区に

大田区長 鈴木 晶雅

新年明けましておめでとうございます。

大田区シニアクラブ連合会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、各地域のシニア会では公園清掃などを通じて地

域に大きく貢献していただき、高齢者がいきいきと過ごす社会の実現にご尽力くださったことに、深く感謝申し上げます。

また、連合会では数多くのイベントが開催されました。特に私も参加した輪投げ大会では、参加人数が過去最高となり、大

変な盛り上がりを見せました。こうした活動が高齢者の生きがいづくりに寄与し、皆様が「明るく、楽しく、元気よく、笑顔で」活動されていることを嬉しく思います。

2026年は午年です。午は「前進」という意味を持ち、力

強く駆け抜ける馬の姿は新たな挑戦への意欲を象徴しています。皆さまがこれまでの経験と知見を活かして、さらなる飛躍を遂げられることを切に期待しております。

結びに、大田区シニアクラブ連合会並びに会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新春あいさつ



新春あいさつ

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会 会長 中島 寿美

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこと

とお慶び申し上げます。

さて、今年の干支は「午（うま）」です。馬は古来、力強く駆ける姿から「飛躍」や「躍進」



楽しみを見つけ、 良い人生を過ごすために

公益社団法人 大田区シルバー人材センター 会長 大越 保正

明けましておめでとうございます。シニアクラブ連合会の皆さまに心より新年のごあいさつを申し上げます。また、

日頃よりシルバー人材センターの活動に対し深いご理解と温かいご支援をたまわり、厚くお礼申し上げます。



輝く一年に希望を込めて

大田区自治会連合会 会長 神山 忠行

明けましておめでとうございます。シニアクラブ連合会の皆さま方におかれましては、健やかに新年をお迎えになら

れたこととお慶び申し上げます。昨年、大田区自治会連合会会長に就任いたしました。責任の重さを痛感しているところでは

の象徴とされてきました。現代の社会においては、物価高騰、少子高齢化や異常気象など、様々な課題を抱えております。解決に向けては、あらゆる技術革新と、人生の中で蓄積された経験知との融合も必要でしょう。世代間の連携が「飛躍」の鍵ではないでしょうか。大田区

社会福祉協議会といたしまして、引き続き、地域社会の中の「つながりづくり」を大切にしたいと存じます。本年が、皆様にとって笑顔に満ちた一年となりますよう、心からご祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

幾多の経験を積んできた私たち高齢者にとっては「できること」が増えるより、「楽しめること」が増えることが「良い人生」ではないでしょうか。能力やスキルを増やすことにも喜びがありますが、その過程や日々の生活の中に喜びや楽しみを見つけられることがより豊かで幸福な人生につながるという

ことです。皆さまは既に「良い人生」を送っておられますから、新年を迎え一層楽しみを増やし、豊かな充実した人生を歩まれることと信じております。常に成長を続けるシニアクラブ連合会の皆さまのご活躍が今年も更に発展されますようお祈り申し上げます。

さいますが、役員・理事の皆さまからのご協力をいただきながら、自治会連合会をさらに発展させる決意でございます。

さて、昨今の価値観の多様化や単身世帯の増加などの社会構造の変化に伴い、「地域のつながり」が希薄化していると言われているとあります。自治会連合会とし

て、昨今の価値観の多様化や単身世帯の増加などの社会構造の変化に伴い、「地域のつながり」が希薄化していると言われているとあります。自治会連合会とし

ましても、シニアクラブ連合会の皆さまと連携・協働していきながら、「地域のつながり」をつくり、地域発展に向けた取組に努めてまいります。結びに、貴会のますますのご発展と皆さまのご活躍を祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

研修部会

声を聞きより良い会へ



おめでとうございます。
います。馬込長生
会の羽田貞雄で
す。

研修担当者として、皆さまがどんなジャンルに興味を持って参加されているか思考しながら過ごしています。その助けとして、皆さまから要望などをいただき、参考にすることがベストと考えますので、ご協力のほどお願いいたします。

(部長 羽田 貞雄)

文芸作品展運営部会

ゆっくり楽しみながら
文芸作品を

令和6年から文芸作品展を担当しています。が、コロナ禍以前と比べると参加クラブ数も作品数も減ってしまったように思えます。昨年は参加しなかった皆さんも、今からゆっくり楽しみながら制作し、その成果を今年の作品展に出品してみたいかがでしょうか。会場を整えてお待ちしております。

(部長 河野洋一郎)

演芸のつどい運営部会

令和8年度
演芸のつどいに寄せて

前回はプログラムに関する要望が多くありました。今回はそれらを改善していきます。また、従来どおり出演する皆さまが安心して、スムーズに楽しく進行できますよう努力いたします。

(部長 沢登 広三)

囲碁・将棋大会運営部会

盛り上がる大会を目指して



令和8年度の「囲碁・将棋親善大会」の第45回開催は9月下旬に予定しています。会場は「大田区消費者生活センター」2階大会集客室の予定です。
この機会に仲間と「囲碁・将棋」愛好者の方はぜひご参加をお待ちしています。ご協力よろしくお願い申し上げます。

(部長 小嶋 宏)

輪投げ大会運営部会

楽しく筋トレ・脳トレを



大田区では毎年輪投げ大会を開催。年々参加チームが増加し、昨年は参加チームが78、90歳以上の参加も20名で、ともに過去最高でした。

輪投げは、5メートル先の1から9の得点が記された台を目標に、9本の輪を投げて得点を競います。簡単そうで奥が深いスポーツです。手軽に取り組める輪投げは高齢者にとって最適なスポーツで、仲間と一緒に楽しい時間を過ごすことができます。

(部長 相原 政男)

ゲートボール大会運営部会

大会を存続させるために



毎年参加チームが減少しています。令和元

年は16チーム、同7年は混成チームを含め9チームです。原因は愛好者の高齢化と若手の入会がないことです。大会を存続させるには18の地域で混成チームができるかです。地域長さんのご意見を聞きながら実現したいと思っています。ご協力お願い申し上げます。

(部長 伊藤 勝)

高齢者のはつらつカラオケ部会

歌声響かせ
今年も挑戦の舞台へ

今年も10月13日(火)、大田区民ホール・アプリコ

大ホールで開催いたします。奮ってご参加ください。カラオケは心身の健康維持に効果的で、1人でも大勢でも気軽に楽しめて元気にさせてくれます。好きな歌、昔懐かしい歌、新しい歌など1曲歌ってみませんか!!

(部長 鈴木 満明)

女性部だより

迎春

新年のあいさつ



新年あけましておめでとうございます。毎年いろいろな行事に参加し、女性部の役割など多くのことを学ばせていただいております。

今まではその名のとおり女性だけでしたが、昨年、男性理事が参加しましたので、これからは男性会員にも楽しんでいただけるよう、活動の幅を広げていきます。

私たちの活動が皆さまの地域で定着し、やがては会員増強につながればと願っております。

(部長 長野 真子)

活動報告

今年度もあと3か月となり、女性部の行事も1月の「城南ブロック健康教室」で終了となります。

今年度は2度の「手芸講習会」を計画し、無事開催しました。講習の成果が会員の皆さまへと広がり、「文芸作品展」で花開いたとすれば、準備や作品の見本作りをした甲斐があったと思います。

毎月1回開催される「いきいき体操」の会場は、来年度から空調設備のある大森西地域力推進センターに移動します。下車するバス停留所は変わらず、今より4〜5分先まで歩いたところにあります。来年4月をお楽しみに。

各地で女性リーダーの活躍「体操」と「手芸」で健康に

第1回手芸講習会
8月8日(金)



布地で作る
ネックレス



和気あいあいと作品づくり

第2回手芸講習会
10月31日(金)



皆真剣に黙々と制作



制作したバラ

健康フェスタ
11月11日(火)

京王アリーナTOKYO(武蔵野森総合プラザ)



フェスタを盛り上げました



練習の成果を披露

何か心配事はありませんか？

〈チーム大田〉待望の第2弾

昨年の新年号からスタートした区長ご提案の「チーム大田」で活動をしようというシリーズ。今回は社会福祉法人 池上長寿園でお仕事をされていて、地域包括支援センターにも詳しい丸山泰一氏にお話を伺います。



キーとなる
『見守りキーホルダー』

飯…「困ったら地域包括支援センター（文中では簡単に「包括」に略させて頂きます）に聞いてください。」とよく言われます。私たちはその存在は判っていても詳しい内容については自信がありません。今日はよろしくお願いします。

丸…こちらこそよろしくお願いします。

飯…大田区には23か所の地域包括支援センターがあり大田どの地域にも存在していると聞きました。丸山様はそのすべてのセンターをまとめていらっしゃるのですか？



丸山参与

丸…いえ、そうではなく、大田区の23か所の包括の中の10か所を池上長寿園が受託して運営を任されているという事です。この連絡会にはケアマネジャーの団体、

合います。私はいわば連絡係です。

飯…重要なお役目ですね。だからこそ皆さんの多様な質問にも対応できる訳ですね。素朴な質問ですが、「包括」の業務はどのような形態で運営されているのでしょうか？

丸…私たち国民は40歳になると国に介護保険料を支払い介護保険の会員になりますね。行政はその皆さまからいただいた介護保険料を積み立てておいて、包括の一連の活動のために使わせていただいています。一連の活動とはケアマネさんの仕事、訪問介護、デイサービス、福祉用具、グループホームなどです。

飯…地域の皆で高齢者を見守るということですね。そして65歳になると全員がその



ゲスト： 社会福祉法人池上長寿園 経営本部 参与 丸山 泰一

聞き手： 大田区シニアクラブ連合会 会長 道々橋寿会会長 飯田 幸男



飯田会長

恩恵に預かれるわけですが、具体的にどのような相談が多いですか？

丸：ご家族が病気になる、初めて介護をすることになったので、その対応を教えてくださいというご相談が多いですね。病院ではやれないことをお手伝いするのが私たちの任務だと思っています。出張所にお電話ください。一番近い包括を教えてください。電話やご自宅に職員が訪問してご相談に応じます。

飯：「包括」の中に「シニアステーション」という施設がありますね。

丸：これは包括のもう一つの役目「介護予防」のお手伝いを行う施設です。高齢者が自立した生活を保ち、住み慣れた地域で元気で楽しく過ごせるようにお手伝いしています。介護予防体操の指導や一連の講習会、教室などの開催です。

飯：私たちシニアクラブでもいつもお世話になってます。人生100年時代といわれる今、包括の仕事の中で丸山様がぜひやってほしい「初めの一步」は何ですか？

丸：それは「見守りキーホルダー」の登録です。大田区にお住いで65歳以上の方なら無料で登録できる制度です。包括には登録者のお名前と番号、ご家族の連絡先などが保管されていて、キーホルダーを身に付けているときに何か異常があった場合はそこに記載された番号を伝えることで、消防や警察などの行政やご家族にすぐに連絡が行きます。すでに登録されている方も多いかもしれませんが、年に一度の更新をお忘れの方が意外に多いのです。皆さまも一度ご確認をお願いいたします。このシステムの良いところは緊急時だけではありません。年に一度の更新の時に必ず包括の職員は登録者の方とお顔を合わせ、お話しをし、自然な形でご体調なども知る機会になります。また65歳以上の独居の方は「一人暮らし登録」

社協 お知らせ

令和7年度 大田区地域福祉フォーラムのお知らせ

大田区社協では地域の皆様と共に取り組んだ実践報告を含めた講演会を次の通り開催します。

日時：令和8年2月8日（日）
13時～16時30分

会場：大田区民プラザ（下丸子3-1-3）

内容：○講演 講師・永田裕氏
（同志社大学社会学部教授）
○地域福祉コーディネーターの実践報告
○グループディスカッション

参加ご希望の方は

1月30（金）日までに
03-3736-2266

大田社協 地域共生担当までお問い合わせください

も同時にできますので日々の見守りもできるというメリットがあります。

飯：まさに「65歳になったらキーホルダーが安全を守る初めの一步」ですね。でも最近よく言われる個人情報、管理などを心配される方もいるのでは？

丸：それは十分に厳しく管理していますのでご安心ください。言ってもなく持ち出し禁止で、ごく限られた人間の指紋認証でしか開けません。私たちが最も気を遣うところです。

飯：池上長寿園の経営本部でお仕事をされているわけですが、最初からこのお仕事に就かれたのですか？

丸：いえいえ、私は魚が大好きで学校は水産大学でした。でも親戚が幼稚園を経営していたので、魚の研究はやめて卒業後はその手伝いをしていました。あるときこれからは高齢者の仕事がいかに重要になる？ のではと思い始め、独学で勉強し実際の現場で経験を積みました。それが今につながっています。

飯：今日は初めてお話しをしたのに昔からの友人のように感じられました。これこそ「介護」の根源なのかもしれませんね。地域で互いに見守りあうことが大事だということでしょうか。今日はありがとうございました。

活動報告

第21回大田区輪投げ大会

努力の軌跡に拍手を

第21回大田区輪投げ大会を、9月9日(火)に大森スポーツセンターで開催。大田区16地域より64クラブ78



会場は熱気に満ちていました

チームが参加し、昨年より11チーム増となりました。

大会に参加した選手は総勢438名で、90歳以上の方も20名で過去最高。大会は、午前十と午後で合計6回戦の総得点で順位を競い合いました。今年度の表彰は、上位10チームに加え、飛び賞(20位〜70位の各10チーム)とブービー賞を加え、得点が低くても頑張ったチームを顕彰させていただきます。

また、表彰式の前には、90歳以上の方へ個別に記念品を授与させていただき、元気なお姿に拍手喝采でした。参加賞は、熱中症対策で活用できるステンレスボトルを参加者全員に差し上げ、大変に好評でした。

(部長 相原 政男)

第44回囲碁・将棋親善大会

盤上に添える一手

9月30日(火)、大田区消費者生活センター2階大集會室にて開催しました。今回38名の申し込みがあり、当日になって2名欠席となりましたが、36名で対戦となり、熱気が伝わってきました。

今回、女性参加者から久しぶりに囲碁の部で申し込みがあり、当日碁石を握り早々に碁盤を見つめ打っていました。

久が原東寿会の小川実様(91歳)は、当初から第44回開催まで連続出場、今回将棋の部では「準優勝」の成績とのこと。今回、特別賞を差し上げることになりました。おめでとうございます。

今回の大会は参加者側と開催側の協力で「明るく、楽しい」雰囲気が出ていました。ご協力ありがとうございました。



熱戦を終え、全員で喜びの1枚

笑顔で解散。

(部長 小嶋 宏)

囲碁の部

順位	氏名	クラブ名
優勝	鈴木 秀和	池上清寿会
準優勝	村澤 操	多摩川芙蓉ハイツシニアクラブ
第3位	岩瀬 静雄	道々橋寿会
第3位	中島 敬治	道々橋寿会

将棋の部

順位	氏名	クラブ名
優勝	山下 敏男	大森鶴寿会
準優勝	小川 実	久が原東寿会
第3位	水村 晃一	羽田第四寿会
第3位	池田 悦博	新宿東寿会

大会結果

順位	クラブ名
優勝	大寿会第二クラブ
準優勝	椿寿会A
第3位	相生長寿会

ゲートボール大会

優勝を目指して

令和7年度のゲートボール大会が10月8日（水）に、参加チーム9、選手54名で実施されました。本大会は仲三シニア会の三連覇が期待されましたが、予想に反した結果で、終了時の成績は下表のとおりです。（部長 伊藤 勝）



仲間が見守ります



ゲートを目掛け渾身の一打

大会結果

順位	クラブ名
優勝	東一健友会 A チーム
準優勝	羽田長寿会 A
第3位	仲三シニア会



表彰を終えて晴れやかな表情で締めくくり

歌声のびやかに

第34回「高齢者のはつらつカラオケコンクール」

10月9日（木）第34回「高齢者のはつらつカラオケコンクール」が、大田区民ホールアブリコ大ホールで開催されました。

62名の出場者で1～10位と特別賞を目指して「のど」を競いました。「美しい昔」を熱唱された椎名待江さんが優勝し、最高齢特別賞の95歳の男性は4位にも入賞され、ダブル受賞に輝きました。お二人ともにおめでとうございました。

（部長 鈴木 満明）

審査結果（敬称略）

順位	氏名	クラブ名
優勝 (北島三郎賞)	椎名 待江	下丸子ことぶき会
準優勝	持田 房枝	御園有終クラブ
第3位	田中千恵子	大森高砂会
第4位	長谷川春朗	ゆりかもめ
第5位	斉藤 了介	南蒲田一丁目高砂会
最高齢者賞	長谷川春朗 95歳	ゆりかもめ

活動報告

第36回「OTAふれあいフェスタ2025」

指導者めざし男性も参加を

平和の森公園にて第36回「ふれあいフェスタ」が11月1日（土）、2日（日）開催されました。両日とも時間厳守のルールのもと午前10時～午後4時とし、シニア連のブースは昨年と同じ、緑のエリアで女性部の協力により手芸教室を開催しました。

（部長 伊藤 勝）



シニア連ブースは手芸教室に



伊藤部長と運営メンバーの一部

下丸子ことぶき会
創設60周年にぎやかに
花開く

10月1日（水）大田区民プラザ小ホールにおいて「創設60周年演芸のつどい」が飯田大田シニア連会長をはじめ、多くの来賓やゲストをお招きして開催されました。

総合司会に柳亭市若氏を迎え、当クラブ会員のほか来賓やゲストによる演技も数多く披露され、演目では歌唱や舞踊に加えて手品や詩吟も登場、会場は大いに盛り上がりました。

次回の70周年大会で元気に再会しましょう！

（会長 岡田 政雄）



アミ・アイリ先生との大合唱でフィナーレ

私たちは大田区シニアクラブ連合会を応援しています（西部版）

開催のお知らせ

第39回「東京都老人クラブ大会」
栄誉称え表彰

12月10日(水)、文京シビックセンター大ホールにて第39回東京都老人クラブ大会を開催いたしました。
本大会にて、大田区シニアクラブ連合会からは7名と1クラブが表彰されました。

第39回「東京都老人クラブ大会」表彰

【育成功労者】

河野洋一郎 (南雪会会長)

渡部 作次 (新井宿長生会前会長)

佐々木一夫 (蒲一長寿会会長)

佐藤 政弘 (蒲田一丁目百寿会会長)

星野谷 豊 (市野倉寿楽会会長)

野口 宏 (新井宿ちとせ会会長)

【若手リーダー賞】

相原 政男 (蓮沼福寿会会長)

【活動賞】

南雪会 (代表者：河野洋一郎)

東老連第60回
芸能大会出場への道

下丸子ことぶき会

会長 岡田 政雄

7月15日の理事会で「今年の東京都老人クラブ連合会主催『第60回芸能大会』大田区代表クラブは下丸子ことぶき会に決定しました」と耳を疑うような発表を聞いたときの驚きは、やがて「二度とないだろう」というような歓喜に変わりました。

9月17日、文京シビックホールで開催される東京都大会へ出場する5名のメンバーも夢のようで、代表の私が大丈夫かと心配するほどでしたが、千載一遇の機会に張り切って練習に励み出場しました。4番目という早い出場順番にも負けず、手作りの応援グッズを駆使した20名の客席から一体となった応援を受けて、懸命に踊る姿には思わ

ず感動の涙がこぼれ落ちました。残念ながら入賞には届きませんでしたが、晴れの舞台に立った満足感と栄誉を味わうことができました。



迫力ある踊りに沸く会場

私たちは大田区シニアクラブ連合会を応援しています (西部版)

これからの文芸作品展について 作品通し交流を



毎年、文芸作品展には大田区のシニアクラブの約60%が参加し、1000人を超える来場者があります。

ご承知のとおり、出品されるのは手芸・書道・絵画・写真などです。手芸作品は、女性部が開催する手芸講習会で習ったもの、各クラブが工夫して作ったものなどが色とりどりに展示され、来場者の目を楽しませてくれます。

文芸作品展の目的は作品の優劣を競つのではなく、お互いの作品を楽しみ、クラブの今後の活動のヒントを

得ることだと思っています。さらに、展示して多くの人に見ていただくことがクラブの活動の励みになれば幸いです。

会場をレイアウトする際には、展示スペースが公平であること、作品の展示・撤収がスムーズに行われることを心掛けます。

令和7年第36回は12月10日(水)～12日(金)、大田区民プラザで開催されました。昨年参加しなかったクラブの皆さんも、今年は何か作って出品してみたいかがでしょうか。スペースを空けてお待ちしております。

(部長 河野洋一郎)



毎年多くの方が
来場されます

文化活動特集

俳句にクローズアップ！

俳句は、季節の移ろいや日々の喜びを五・七・五に込める日本の心。多くの仲間が句作を通じて感性を磨き、交流を深めています。今号では、俳句活動の魅力を紹介します。



名師に学び、楽しさ今も

南蒲田一丁目高砂会 松村 七重

私たち南蒲田一丁目高砂会の高砂文芸サークルは、さかのぼること昭和63年10月に発足いたしました。

大田区短歌連盟の林民雄先生を師事し、指導していただきました。現在は先生も亡くなられ、世代交代をし同好会として楽しんでおります。

私たちの活動は受け継がれ、柴田会長のもと輪投げ、カラオケ、手芸など幅広いお仲間とつながり、地域に根ざした「生きがい」を見つけて楽しんでおります。



終始笑顔が絶えません

心で味わう俳句の世界

大田明朗会 会長 杵鞭 勝彦



感性を研ぎ澄まし、俳句を楽しんでいます

大田明朗会は、区内の視覚障がい者の60歳以上で構成されているクラブです。

現在会員は、30名。主な活動は、俳句教室、カラオケ教室、スティックボール教室です。視覚に障がいがありますが、残された機能をフル活用して人生を楽しんでいます。

俳句は吟行したり、皆さんで評をしあったりします。スティックボールは、ゲートボールのスティックで鈴の入ったバレーボールを打って、ピンを倒す競技です。今度皆さま方を招待して一緒に楽しみたいです。

～伝統文化を守る～

特集

空飛ぶかかし「六郷とんび風」

お正月の風物詩はシニア世代なら何と言っても風あげ！
それも大田区では「六郷の鳶風」が貴重な伝統文化だと聞き取材をすることになった。

〈鳶風の歴史〉

江戸時代、今の羽田地区は漁師町で、六郷川（多摩川下流部の別称）の河原では漁った魚を河原に干していたが、鳥の大群に食い荒らされて困っていた。ある日鳶が飛んできたら、鳥が一斉に逃げ去った。この様子を見た漁師たちが本物の鳶そっくりの風を作り「空飛ぶかかし」として、盛んに作り始めた。これが人気となり六郷地域には多くの風作り職人が生まれ技術の研鑽が積まれ、だんだん大きな風が作られこの大風はこの年の昭和天皇の立太子礼を記念して沼津の御用邸に献上され、これを機に全国的にも有名になったという。



空を舞う様子は圧巻

まだ残暑厳しい8月末、大田シニア連副会長で道塚友愛クラブの多田会長、蓮沼福寿会の相原会長とご友人で鳶風にも詳しい望月氏と共に「六郷鳶風の会」会長の吉田恒夫氏のお宅に、お邪魔した。

ご自宅兼工房は多摩川堤防からほど近いところにあり、会長はにこやかに一行を迎えてくださった。

吉田会長は現在唯一の六郷鳶風作りの名人であり「達人サミットin大田」で町おこし名人とも呼ばれている方でもある。

「このぐらやきは地域の名産

品なんですよ」と冷たいお茶と「とんび風ぐらやき」を自らサービスしてくださり、この地域ととんび風との繋がり深さと名人のお人柄を感じた。

開口一番「何故風作りに興味を持たれたのですか？」との質問に「僕たちが子どもの頃はまさに戦争真っただ中。玩具などは全くなかったので風も工夫して自分で作りました。それで物作りの楽しさが身に付いたのかな？そのうち、羽に切り込みを入れるとよく飛ぶ、嘴を立体的にするともと本物に近くなる、など改良を重ねるとますます面白くなって没頭していきまして」ところが戦後子どもの遊び



「六郷とんび風の会」
会長 吉田 恒夫氏 (90)

方は大きく変わり、凧の需要は減り続け、昭和34年には六郷の凧屋は全てなくなったという。これを残念に思った地元では「この技術をなくしてはいけない」という声が高まり、54年頃、当時の六郷小学校の教頭や地元有志の方々の努力下で「凧の会」が復活した。その中に吉田会長のお兄様、康秋氏もいらしていて、子どもの頃から凧作りが得意だった恒夫氏にその技術を受け継いでほしいと懇願した。当時会社員であり、社会人野球の選手でもあった恒夫氏は退社して、「凧の会」の仲間になられたという。

しかし奥の深い伝統的な作り方を次世代に繋ぐということとは、簡単なことではない。区内の小中学校では「物づくり教室」で凧を教材にして授業を行い、近くのお寺や町内会のイベントでは講習会

が開かれたが、一日で出来る上がるという凧作りではないため、指導者の確保も大変だった。

吉田名人は、



凧あげには長い歴史あり

まずは指導者を育成するために学校の先生やボイスカウトのリーダーたちに度々指導を行ってきた。

その結果、平成28年のお正月には多摩川の河原で町会が中心になって「どんど焼き」と凧あげのイベントを開催し、子どもたちが自分で作った凧を大空に飛ばせて楽しんだ。

吉田名人が作られる鳶凧の羽根の幅は7.2メートルもあるが、その制作に必要な上質な竹も紙も今では入手が困難になっているとのこと。でもお別れの際に吉田名人が「今度六郷地区の青少対のリーダーさんたちが指導者を育成する活動を始めてくださるとお聞きしたので期待していま

す」と話されたのでお邪魔した一同は少し希望を繋げた。

早速、大田区高齢福祉課に問い合わせたところ、六郷特別出張所の計らいで六郷地区青少対の野村会長にお会いすることができ、青少対でも今後指導者育成の努力をしたいと思っているとのお話を伺うことができた。また高齢福祉課や東一シニアクラブの小嶋会長からもぜひ講座を開く機会を作りたいと嬉しいお返事をいただいた。

「物作りの大田区」としてはなんとか次世代に鳶凧の技術を繋げる努力をしなくてはならないのでは？と痛感している。

（鳶凧は大田区役所の玄関ホール吹き抜けの他に「大田区資料館」「六郷特別出張所」などでいつでも見られます）



青少対 野村会長

文芸シニア

俳句

菊を見に高幡不動冬浅し

大田明朗会

綾部 捷子

毛糸編むころがる球で猫あそぶ

大田明朗会

杵鞭 勝彦

越後より寒餅届き長電話

大田明朗会

豊島 仁

冬の日を豆粒ほどに生きていた

大田明朗会

五十嵐 秀山

今日一日縞の着物で一葉忌

南浦田一丁目高砂会

松村 七重

年寄りにスマホ持たせてボケ防止

女塚一・四クラブ

池田 邦春

五月晴れ勲章受けし友米寿

大森西三和会

伊東 光江

冬風や鳥一羽舞う浜の空

大森千代田会

服部 かよ

吾赤紅一枚かざし故里思う

南浦田一丁目高砂会

関森 史子

短歌

寒風に健気に咲ける紅梅の

赤き花びら心惹かるる

南浦田一丁目高砂会

望月 浩子

福島へ杖をたよりに伴せを

やさしく包む湯煙の宿

南浦田一丁目高砂会

柴切伊津子

編集後記

今号は「子」

ム大田」の一環

として大田区

地域包括支援

センターの活動を取りあ

げました。また、郷土の

伝統文化としては六郷の

鳶凧を、単位クラブの紹

介としては文芸シニア欄

に多くの投稿をしてくだ

さっているクラブをとり

あげました。

これからも郷土の伝統

ある文化・芸能を掘り起

こし、活動に特長のある

単位クラブを紹介するな

ど、皆さまに興味を持っ

ていただける紙面にして

まいります。ご要望やご

意見をお待ちしておりま

す。

(沢登)



部部長

広報部メンバー(敬称略・順不同)

木村 典子
沢登 広三
中島 勝彦
新島 洋子
多田 喜代治
相原 政男
河野 洋一郎

◇スポンサーへの御礼

本誌の広告掲載にご協力をいただきましたスポンサー各位に厚く御礼申し上げます。今後ともよりいっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。